



旭川医療センター病理診断科
玉川 進

徳島のみなさまからも2014年の講演依頼をいただきましたが、日程の都合でお断りしました。ごめんなさい。また声をかけてください。他の地域にも呼んでいただければ幸いです。



図1 以前に習った方法でも大丈夫です。自信をもって実行してください



図2 消防署では、国で決めた内容をそのまま伝えます(旭川東高校での講習会)



図3 思春期以前は人工呼吸は必須です



図4 首が折れていても、迷わず人工呼吸を行います



図5 若い人(高校生以下)なら肋骨はほぼ折れません

今回は、心肺蘇生法やAEDなどについて「よくある質問」にお答えします。

①心肺蘇生法

Q. 以前に習った心肺蘇生法しかわかりません。

A. 心肺蘇生法はどんどん変わってきています。これは、どの方法が一番いいのか、まだ確立されていないことを意味します。以前に習った方法でいいので、とにかく実行してください(図1)。

Q. 本連載の内容には、消防署で習った内容と違うところがあるようです。

A. 消防署による講習(図2)は、国で決めた内容(2010年発表)から逸脱することなく、安全を第一に教えています。本連載では最新の情報を交えているため、内容が若干異なることがあります。

②人工呼吸

Q. 人工呼吸はしなくてもよくなったのですか?

A. 新生児~高校生までに対しては人工呼吸を行うことになっています。特に思春期以前の児童には人工呼吸は必須です。この年齢では心停止の原因が呼吸停止によるためです(図3)。

Q. 首が折れているときでも人工呼吸を行うべきですか?

A. 呼吸をしていないなら、迷わず人工呼吸を行います。ただ、力づくで顎を持ち上げることは避けましょう(図4)。

③心臓マッサージ

Q. 心臓マッサージで肋骨を折らないか心配です。

A. 高校生以下なら折れることはまずないでしょう。骨が軟らかいためです。一方で、70歳以上の女性では折れる症例がみられますが、だからといって心臓マッサージをためらうべきではありません(図5)。

Q. 心臓マッサージで「深さ5cm」と言われますが、正確な深さがわかりません。

A. これは『可能な限り深く』という意味です(図6)。同様に、テンポの「100回以上」は『可能な限り速く』と考えてください。

Q. 倒れた人の周囲に自分一人しかいません。

A. まず119番をするか、誰かを呼んで119番をしてもらいます(図7)。次に、AEDの設置場所がわからなければそのまま戻って心臓マッサージを行い、場所がわかっていたらAEDを持って戻り、心臓マッサージを行います。学校内では誰かいるはずですから、その人に119番とAEDを頼みましょう。

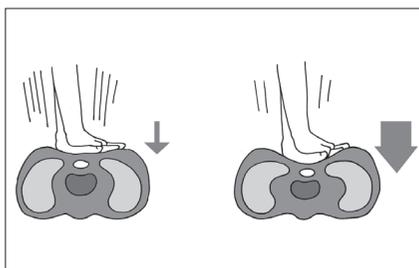


図6「5cm」は『可能な限り深く』という意味です

④ AED

Q. もし、間違えてAEDのボタンを押してしまったらどうなりますか？

A. 必要なとき以外は電気が流れないようになっているため、何も起こりません(図8)。

Q. 心臓震盪はAEDがないと助かりませんか？

A. AEDがあってもなくても、やるべきことは人工呼吸と心臓マッサージです(図9)。心臓マッサージを続けていれば心臓は元気を保っていますので、その後に救急隊がAEDを持って来て使った場合に反応しやすくなります。



図7 自分一人なら最初に119番、次に心肺蘇生



図8 電気は必要なときにだけ流れます

⑤ 窒息

Q. 詰まった異物の除去方法はどれが一番いいのですか？

A. 腹を押す、胸を押す、背中を叩く、などの方法がありますが、どれがいいかはわかっていません。思いつくことを全て実行してください(図10)。なお、掃除機の使用は推奨されていませんが、実際に成功した例が多くあるため、試みる価値があります。

Q. まだかすかに呼吸ができています。異物を除去したほうがいいですか？

A. すぐ救急車を呼んで、次に咳をさせます(図11)。息ができている間はそのまま様子を見ましょう。うかつに手を出すと完全窒息する可能性があります。



図9 心臓震盪でも、やるべきことは人工呼吸と心臓マッサージです

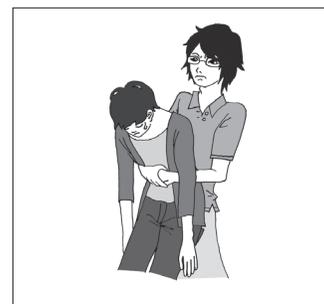


図10 窒息ではあらゆる方法を試みます



図11 まだ呼吸が通る状態なら、咳をさせます

今回は「学校での症例」です。